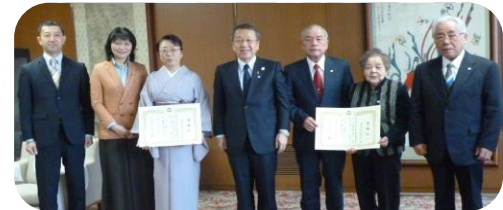




中野区長より「感謝状」授与
東日本震災被災者
支援活動の功績



鷺宮地区町会連合会・鷺宮都営住宅自治会

平成 28 年
(2016 年)
5/10

鷺宮

No. 341



編集・発行 鷺宮区民活動センター運営委員会

〒165-0032 中野区鷺宮3丁目22番5号 電話:3330-4127 FAX:3330-4131

[題字は長谷川昂氏]

E-mail:nakano_saginomiya@nifty.com

http://www.nakano-saginomiya.gr.jp/

首都直下型地震は、目前に

イザその時の備え、今考えよう

首都直下型地震は関東大震災から93年、いつ発生してもおかしくない時期に！

首都直下型M8クラスの巨大地震は、約二百年の周期で発

生していると考えられています。また、巨大地震の発生後、約80年から百年の静穏期を経て再び活動期に入ればM7クラスの地震が頻発、最終的にM8クラスの地震が発生します。大正12年の関東大震災から93年、今東京は静穏期に入っています。東京にM7クラスの地



大正12年9月1日関東大震災

まずタンスや冷蔵庫などの大型家具を固定すること。就寝中家具が倒れてきて圧死、冷蔵庫が飛んできて壁を突き破り居間や寝室に侵入などの事案が過去の大地震の際、実際起きています。



地震に対する備え、今できること

震はいつ起こっても不思議ではない時期に来ているのではないかと考えられます。

防災器具は、ホームセンターなどで扱っています。つかえ棒などで固定された器具が天井板を突き破って家具が転倒するなど考えられます。しっかりと固定しましょう。

ポリ袋で簡単に作る

なめたけご飯

- 【材料2人前】
- 米 1カップ
- なめたけ 適量
- 水：材料込み180ml
- ①米をポリ袋に入れ、水を少し入れてもみ洗いし水をきる。
- ②なめたけを入れ、水を180mlまで入れる。
- ③全体を良く混ぜ合わせる。

乾物サラダ

【材料2人前】

- 乾燥ワカメ 3g
- 切干大根 15g
- 棒寒天 4g
- コーン 大きじ1
- ごま 小さじ2
- 焼き海苔 1枚
- 調味料：醤油、ゴマ油 各適量

せ、空気を抜く。ポリ袋の上の方を結び、20分〜30分湯煎する。

3・11から五年 故郷は除去土俵の仮置き場に



3・11その日私は、福島県双葉町の自宅で震災に遭った。

私達は家から50キロ位離れた川俣町の小学校に避難する。休む場所は狭く、特に夜間は周りの人たちの話し声でゆっくり眠れなかった。三日目の朝、川俣町にも放射能の影響が出た。隣の人は「埼玉の子供のところへ行く」と出て行った。私達もその日「東京に行く」と軽自動車避難所を出た。途中ガソリンスタンド

はどこも車の行列、時間がかかると思い那須塩原駅で車を置き新幹線で東京へ出て来た。

あれから五年、故郷の双葉町は放射能除去土俵の保管場所の中間貯蔵施設になっている。我が家に一時帰宅する時も立ち入り許可をもらい、途中検問を受ける。部屋に害虫駆除の薬を置いたりしてすぐに東京に戻る。そんな時、今まで暮らした町や我が家にはもう戻れないののではないかと思うと悲しくもあり、悔しい思いもある。

私達は、当時新築された白鷺の高層都営住宅で快適な生活をさせて貰いましたが、あの五年前の悲惨な東日本大震災を風化してはいけないと思う今日この頃である。

(中福の会代表 谷尚之)



福島県双葉町の仮置き場
除去土俵の搬入状況

3月11日 第5回東日本大震災

「3.11のつどい」が開催されました。震災から5年、福島の現状などのお話や、震災発生時刻に全員で黙祷を行いました。



ゲストのソプラノ歌手・新居さんの
素敵な歌声に皆さん癒されました。

①ポリ袋に、わかめ、切干大根、棒寒天に1/2カップの水を入れ、5分〜10分戻し、水気をしぼる。
②①にコーン、ちぎった焼き海苔、ごま、調味料を加えて混ぜる。
(日赤鷺宮分団)

火災から大切な命を守る！

火災から命を守る 住警器

野方消防署



平成27年野方消防署管内で、火災による死者が発生したのは3件あり、4人が亡くなりました。この3件の原因は、電気器具の配線短絡、こんろ、ガスストーブと寝具の接触など様々です。

日常生活を送る中で、火災に結びつく要素が重なった時、火災が発生し、大切な命が失われると言えらるかもしれません。大切な命を守るために、何をすればいいのでしょうか。

みなさんは、住警器をご存知ですか？
住警器とは住宅用火災警報器の略称で、東京都では火災予防条例により、設置が義務であり、その根拠や基準、そして維持管理について定められています。

住警器などが設置されているか否かで比較すると、火災100件あたりの死者発生件数で約3倍、人口10万人あたりの死者発生件数で約5.9倍と設置していない場合の被害が大きいという過去のデータもあります。

野方消防署管内の過去10年間の住宅火災による死者は19人でした。このうち住警器の未設置が14人、設置が不明なものが2人でした。19人中16人(約85%)は、住警器の設置により助かった可能性があったかもしれません。

どんなに出火防止対策を講じていても、火災発生をゼロにすることは困難です。火災による被害を最小限に食い止め、大切な命を守るため住警器を設置するとともに、その機能が発揮できるように維持管理に努めて下さい。